



板橋稲門会

板橋稲門会会報 第20号
 平成30年4月20日
 発行 板橋稲門会事務局
 〒175-0094
 板橋区成増1-18-18藤田方
 TEL030-3216-4186 FAX03-3976-4717
<http://www.i-toumonkai.jp/>
<http://www.facebook.com/ita.toumon>



和やかに笑顔で交わす 稲門の絆!

2017年5月24日午後6時半より、成増アクトホールにて開催され、会員・同伴者・ゲスト合わせて51名、来賓9名、学生13名の総勢73名の方に参加いただきました。

〔定時総会〕

司会は藤田治幹事長。鷹背慎吾会長挨拶の後、議事に入り、事業報告と事業計画(藤田幹事長)、会計報告(田上敬明会計幹事)、監査報告(中村恵一郎監査幹事)、予算案(恩田通夫会計幹事)の説明があり、満場一致で承認。また役員任期満了に伴う新役員には、朝倉久男氏(S47年・政経卒)、吉田重雄氏(S48年・政経卒)の就任が満場一致で可決され、総会は滞りなく終了しました。

〔懇親会〕

懇親会の司会は山上郁雄副幹事長。鷹背慎吾会長挨拶の後、来賓9名の方の紹介があり、来賓を代表して早稲田大学地域担当部長の伊藤正徳様からご祝辞をいただきました。続いて当会顧問の下村博文衆議院議員よりご祝辞と高等教育無償化についてお話をいただき、東京都23区支部小林弘和支部長の音頭で乾杯を行い、歓談に入りました。



伊藤正徳氏

しばらく歓談いただいた後のアトラクションでは、早稲田大学ハイソサエティ・オーケストラ6人による「モーニング」などの名曲演奏を大いに楽しみました。

〔校歌斉唱〕

恒例の校歌斉唱は、早稲田大学応援部元副将の木暮美季さん(本年度当会に入会)の若さ溢れるリードで盛り上がり、龍田幹雄副会長による閉会の辞により終了しました。



記 龍田幹雄 (30年 理工)

〔来賓〕
 早大・伊藤正徳地域担当部長
 東京都23区支部・小林弘和支部長
 北稲門会・北 雷次会長
 豊島稲門会・石川宣司会長
 千代田稲門会・五島一雄会長
 練馬稲門会・関博之会長代行
 中野稲門会・濱達次郎副会長
 新宿稲門会・石川啓司副会長



板橋稲門会 2018年度 イベント予定

右のイベントに参加し、身近に住む校友との交流を図り、共に早稲田愛を感じましょう!

※日程は変更になる場合があります。ご案内は、メールアドレス登録者には全イベント、郵送希望者には希望イベントをお知らせします。ホームページ、Facebookには案内・報告を掲載しますので、折にふれてご覧ください。

- 板橋稲門の集い(総会・懇親会)・・・5月26日(土)
- ウォーキング・・・第26回 4月1日(日)石神井川お花見 / 第27回 11月頃
- ゴルフコンペ・・・第39回 5月24日(木)JGM やさと石岡ゴルフ倶楽部 / 第40回 10月
- 国内旅行・・・6月1日(金)～3日(日)金沢旅行「加賀百万石まつりと温泉」
- 会員懇親会・・・納涼会 8月4日(土)池袋「東明飯店」
 新年会 2019年1月14日(祝)レストラン「パドマ」
- 稲門祭・ホームカミングデー・・・10月21日(日)
- スポーツ観戦・・・野球:早慶戦10月末 / ラグビー:早明戦12月2日(日)予定
- 工場見学会・・・10月頃
- 食べ歩き会・・・12月(忘年会との合同企画にて実施予定)
- 囲碁部会・・・原則毎月開催 部会長:山本康夫会員
- カラオケ部会・・・第1回 4月20日(金) 部会長:潮鏡太郎会員
- バーベキュー・・・5月12日(土) 中台サンシティ「バーベキューガーデン」
- 音楽鑑賞会・・・2019年1月14日(祝) 稲吹会ウインターコンサート2019
- 東京都23区支部大会・・・2019年3月17日(日)
- 板橋稲門サロン・・・原則毎月第3土曜日午後 於:大山・サンアルク

ホームページ <http://www.i-toumonkai.jp/> フェイスブック <http://www.facebook.com/ita.toumon>

▼ラグビー「早明戦観戦」▲

2017年12月3日(日)秩父宮ラグビー場
12月最初の日曜日の一大イベントと言え、
伝統のラグビー早明戦。今年は12月3日に行
れ、10名が観戦会に参加した。好天に恵まれた秩父宮ラグビー場は
2万2千人の大観衆。早稲田は前週の早慶戦で逆転勝ちを収めてお
り、慶應に敗れている明治に勝って単独2位になりたいところ。



池田 正法 (平3年)

開始直後、早稲田は速いテンポでパスを回していく得意のパターン
で敵陣に攻め入った。「よし、いける!」と思った矢先に、明治の選手が
狙ったかのようにボールをインターセプト。そのまま75メートルの独
走を許しトライを奪われた。

早稲田もその直後にラインアウトからのモールでトライを奪い2
点差で前半が終了。この点差ならば早慶戦のときと同じように逆転で
きることだと思っていたが、残念ながら後半は明治優位に試合が展開され
た。早稲田は何度も敵陣に攻め入るが、ゴールライン手前でミスを連
発。残り5分、1トライ1ゴールで同点のチャンスにも自陣で痛恨の
ペナルティー。そのままペナルティーゴールを決められて、19対29で
ノーサイド。



明治に負けて2敗となり、早稲田・明治慶應が5
勝2敗で並び、3校が同率2位となる悔しい結果に
終わった。それでも早稲田には下級生に有望な選手
が多く、来シーズンでのリベンジに期待したい。
ラグビーはテレビ観戦より現地で見ることが生
の迫力があり、はるかに面白いので、来年はより多く
の方に参加してもらい、一緒に早稲田を応援して欲
しい。

▼第17回食へ歩きの会▲

2017年7月23日(日)魚の吉池直営「吉池食堂」

魚の吉池直営「吉池食堂」
9Fの眺めの良い席で開催!

うだる暑さが続く昨今ですが、美味しい料理
を楽しみ冷えたビールで日頃の疲れを癒し、親しく懇談しました。
参加者は奥様同伴の方も3組あり、女性4名を含め、19名でした。
当初「グルメの会」としてスタートした企画でしたが、4~5年前に
「食へ歩きの会」として行名を変更。また、当初は昼食会としてお酒抜きで
開催していましたが、1年半前から会場の都台で夕方に開催となり、も
ちろんお酒も出るようになったところ、それまで以上の参加者があつ
たことから、このスタイルを踏襲し
て、今回で4回目となりました。



藤田 治 (44年 理工)

現参加者は先輩の方が多く、こ
の企画で継続するか、当初の昼食
会とするか、皆さんのご希望やこ
意見を伺いたいと考えています。

なお、食へ歩きの会の前に任意
にて参加を募った上野 鈴木演
芸場の観劇には6名が参加し、大



いに落語を楽しみました。
△参加者/富澤輝一、関精一、清水勇次、坂井俊一、鷹嘴慎吾、中田秀
信、本田康、藤田治、水野光春、菅原光明、阿美子、朝倉久男、吉田重雄、恵子
窪田公一、鈴木健司、田中康智、木暮美季

▼第18回食へ歩きの会▲

2018年2月25日(日)南常盤台「鳥忠」

「早稲田」の「わ」は、「話」「輪」「和」となる!

2月25日(日)午後6時から、ときわ台駅から南常盤台商店街を川越
街道方面に歩いて3分の所にある「鳥忠」の2階で行いました。「鳥忠」
という店の名前からも「鳥」の字も焼鳥がメインですが、刺身も夫婦羅
もその他豊富なメニューのどれも美味しく、幹事の私(吉田)はポトル
キープして、夫婦二人でよく行くお店です。このお店を板橋稲門会の
皆さんの紹介したいと思ひ、「食へ歩き」の会の会場に選びました。

天気は曇天、気温は低く寒い中、23名の出席で始まりました。冒頭
幹事が「今日は老人会ではありません、食へ歩き」の会です」と、男
性参加者17名の平均年齢は70歳を超え、女性6名の平均年齢は60歳
台と、参加者の高齢化現象を指摘しました。しかし、会が始まり、飲み
食いし、談笑する皆さんの姿は元気で年齢を感じさせません。

食へ歩きは、刺身、焼き鳥、牛肉、天婦羅、エビチリ、鍋、そして最後は
雑炊と料理の品数はもちろん美味しく、美味しさにも皆さんに満足してい
だきました。鳥忠から焼酎の一瓶
瓶の差し入れもありました。
座敷だったので、お酒を注ぎに
席を移動しながら、お會員同士が談
笑する「話」の「輪」が「わ」が
き「和」の「わ」が「か」な時間を過
ごしました。稲門会會員共通の心
のふるさと「早稲田」の「わ」は「食
へ歩き」の会「話」「輪」「和」



東京都23区支部大会

2018年3月18日(日)
大隈講堂・リーガロイヤルホテル
溢れる早稲田愛を
感じとった講演でした!



木暮 美季 (平29年 法卒)

早稲田大学校友会東京都23区支部大会に、板橋稲
門会から10名が参加しました。去年卒業した私にとつ
て初めての参加であり、都内23区全ての稲門会が集う
大きなイベントに圧倒されました。

今回、大隈記念講堂で講演されたのは、元早稲田大
学政経学部教授の川勝平太静岡県知事。テーマは「富
士山・稲穂・世界」で、今後の目指すべきワールドワイド
な日本・静岡県を語りながら、早稲田への愛を表現され
ていました。まもなく社会人1年目を終える私は、卒業
後どこか早稲田マインドを抑えていたように思います。
しかし、知事から溢れる早稲田愛を感じとった私は、
如何なる時も早稲田マインドを全開にしていこう
と決意を新たにしました。

その後行われた懇親会では、地域を越え沢山の方々
と交流を深めました。それぞれ育った時代は違いますが、
早稲田という一つの場所に集うと途端に全員仲間
となり、共に拳を振って都の西北を歌うことができます。
「心のふるさと」と歌詞にあります。いつでも帰
れる場所があるというのは幸せなこと、私は早稲田
に来るたびに心に母校愛が漲ります。早稲田で過ご
せて良かったと、会の終わりに校歌を歌いながらしみ
じみと思いました。

支部大会の出席メンバーに加えていただきありが
とうございました。支部大会全体的に同世代のOB・OGが
少なかったため、盛り上げるために何か力になれたら
と心から思いました。これからも板橋稲門
会の一員として積極
的にイベントに参加
していきます。今後とも
よろしくお願ひ申し上
げます。



編集後記

この板橋稲門会会報が節目の20号となりました。
年々諸活動が活発となり、年間を通してイ
ベントへの参加者が増加しています。このところ若
い人の入会・参加も増えていて嬉しい限りです。
垣根の無い早稲田の輪を更に拡げ深めてい
きましょう。ご支援、ご協力を引き続きよろしくお願
ひいたします。 板橋稲門会 役員・事務局一同

▼2017年度・囲碁の会▲

2018年3月17日(土)板橋稲門サロン

2018年度は、新たな展開へ!

2017年度最後の「囲碁の会」は、板橋稲門サロンの別室にて3月
17日(土)6名が参加して開催、対局しました。
今年度の開催は、4月・6月・7月・12月3月の都合5回でしたが、
対局後には高段者の市川さん・山本さんから対局を振り返り解説して
いただき、大変勉強になりました。

なお、当初からの懸案であった会の名称の件、参
加者の皆さんと今までの経緯と今後の展開につ
いて話し合い、2018年度から「囲碁部会」に改称す
ることとし、部会長には山本康夫さん(46年 政経卒)
に就任していただくこととなりました。
2018年度は、山本部会長のもと、新たな展開
を考えていきたいと思ひます。また、初心者の方の
参加も大歓迎ですので、興味のある方は是非ご参加
ください。 記 藤田 治(44年 理工)

△参加者/渡辺寛、鷹嘴慎吾、藤田治、山本康夫、斉藤友一、市川健



▼第5回工場見学会「第一硝子」

2017年10月12日(木)

板橋稲門会 工場見学会(第一硝子)見聞記

10月12日(木)板橋区内の第一硝子株式会社を訪問。JR浮間船渡駅から徒歩7分の荒川土手近くに位置する同社敷地5700坪、従業員数250名の建屋上には東北新幹線、埼京線が走っている。2本の高い煙突に第一硝子と表示されているので、埼京線などの車中から眺めたことがある方も多いのではないだろうか。工場が先に建っており後から新幹線が上空を走るようになったそうである。

総務部の丁寧な歓迎後、まずは技師長による会社概要の説明を受けた。第一硝子は、薬品化粧品、食品等の小型瓶を年間5億本生産しており、同業の小型瓶メーカー6社の中では約10%のシェアを有している。ガラス瓶の需要は毎年減少傾向で、同種小型瓶はPETボトルに置き換わっているのが脅威とのことである。第一硝子は、ある薬品メーカーの容器(注射剤用バイアル瓶)を単独供給するなどの強みがあるそうだが、PETボトルにも対応できるように、数年前からフリオームPETボトルの素材(分野)にも参入し将来への布石も打っているのだと内々の話もあった。

工場見学会は、今回8名の参加者が2班に分かれて説明をしていただいた。原料置き場、砕石



工場見学会懇親会にて後列左からお二人目



追悼文 故萩野茂雄さんを偲んで

平成29年12月24日、当会の副会長 萩野茂雄さんが85歳で(免疫不全による肺炎等)亡くなりました。

平成30年2月16日に築地本願寺本堂にて社葬が執り行われ、大変多くの方たちがお別れを惜しまれました。告別式の中ほどは、故人の造詣が深いベートーベンの弦楽四重奏曲第13番の力パティエナが献奏されました。

萩野さんは理工学部金属工学科を昭和30年に卒業され、特殊銅合金の開発と製造の大和合金(株)、三芳合金工業(株)の社長、相談役をされ、業界では人手金属メーカーも一目おく存在で屈指の地位を確立してきました。社員の幸せを第一に考え、会社の繁栄と社会に貢献することを目標として経営され、第一回「いたばし働きがいのある会社賞」、東京商工会議所の第六回「勇氣ある経営大賞」を受賞されました。

早稲田大学にも長年にわたり多大のご支援をされ、また板橋稲門会にも貢献されました。板橋稲門会の「第一回工場見学会」を、平成25年に三芳合金工業にて開催させていただきましたことを銘記いたします。心からご冥福をお祈り申し上げます。有難うございました。

板橋稲門会 会長 鷹嵩慎吾(37年 商卒)



工場見学会懇親会にて後列左からお二人目

ダ灰(石灰石カレット等)から始まり、溶解炉(1500度を超える高熱で原料を溶解、ガラス素地を作る炉が3基)自動製瓶機(溶解された硝子をコブと呼ばれるガラス塊にし、オレンジ色に輝いたまま瓶に成形される)冷却炉(徐々に冷やしながら歪を取り除く)そして検査工程を経て梱包へ至る。溶解炉や製瓶機の工程で真っ赤(オレンジ色)に輝きながら瓶になってゆく工程(毎分350本の製瓶)は熱さが肌にも伝わり、工場の躍動感を久々に味わう。勿論その工程は全てコンピュータ制御されているが、最終工程はかなりの人数の女性社員関係会社による外注(目視検査)しておりその様子は意外であった。同社はリポビタンのDの瓶も生産していることから、帰り際お土産を頂いた。板橋区の元気な中小企業製造メーカーを目のあたりにした充実した工場見学会であった。 記 朝倉久男(47年 政経)

▼第6回納涼会

2017年8月26日(土)ラミニアピータ

おいしいイタリア料理と女性サックス四重奏を楽しむ!

今年の納涼会は、イタリア料理のラミニアピータで開催、おいしいイタリアンに舌鼓を打ちました。お料理も豊富でみなさんの箸がすすんだため、お店からは何品も追加でサービス提供してもらいました。また、参加者のみなさんの楽しそうな姿を見て、店長さんから時間の延長まで申し出てくださり、この場をお借りしてお礼申し上げます。そしてアトラクションとして、女性サックス四重奏プロムカルテックによる演奏も行われました。2年越しでようやく実現したアトラクションだったので、特に私たち幹事のテンションはとても高まりました。まず、ソプラノサックス、アルトサックス、テナーサックス、バリトンの4つの楽器についての紹介から始まり、笑点のテーマ演奏で完全に会場の雰囲気をつかみます。その後は、懐かし名曲のメドレーなどが披露され、すっかり演奏に引き込まれてしまいました。時には曲に聴き入り、時にはワイワイと盛り上がる楽しい時間が続きました。吉田重雄さんそして幹事の私からのサプライズ余興もあったことだけ書き記しておきます(笑)。



中康智(平10年)

書もたけなわとなり、クライマックスには清水勇次さんのエルでの校歌斉唱(大きな声で歌いました。会も無事に終わりみなさんが帰り際に今年も楽しかった!「サックス演奏いいね」「料理もたくさんあった」など、声をかけてもらいました。しかもこの上ない満面の笑顔で今年も幹事を務めてよかったなあと、準備の疲れも気に吹き飛びました。最後になりましたが、早いもので夏の納涼会は6年目となり、参加者も40名を超える大きな板橋稲門会の行事に育ててもらいました。思い返せば6年前「もつと気軽に、そしてフラッとつけるイベントを打とう!」とビビアガーデン納涼会を企画したことに始まります。気軽に!がコンセプトで続けてきましたが、会自体も大きくなりましたので、これからはこの気軽にプラスして「納涼会にいくと嬉しいこと、楽しいこと、ワクワクすることがある」と感じられるイベントへと育てていきたい、と感謝とともに思っています。



▼第6回新年懇親会

2018年1月20日(土)大山「パドマ」

板橋稲門会の新年会は1月20日に昨年と同じ大山の「パドマ」を貸切りで行いました。

午後4時に開会、鷹嵩会長から今年の板橋稲門会は今まで以上に活性化させ、発展させたい旨のご挨拶がありました。また、永年当会運営に尽力された副会長の萩野重雄様が先月ご逝去されたことが報告され、同氏のご冥福を祈り全員で黙祷を捧げました。続きまして飯田名誉顧問のご発声で乾杯した後、懇談に入り、「大限塾」で講義されたお話しを伺いました。 新入会員として、追川恵二さん(昭52年 教育)と大谷真さん(平22年 文)をご紹介し、引き続き懇談。



5時、新年企画「箱根駅伝」早稲田着順予想の結果発表は、早稲田の3位を見事予想した6名に景品が贈られ、元競走部の松村茂さん(48年 政経)が箱根駅伝の総括。早稲田の走りについて分かりやすく話をしてくださいました。



5時半、今回のアトラクションも昨年と同じ、早大フォークソングクラブOBのエバー・グリーン演奏を楽しみました。最後の校歌斉唱は元応援部副将木暮暮季さんのリードで大合唱になりました。いつになく全員が大きな声を出して歌った都の西北の響きが今年の新年会の盛り上がり象徴していると思えました。



吉田重雄(48年)

▼音楽鑑賞会

2018年2月12日(月)祝文化会館

稲吹会ウインターコンサート

18鑑賞報告

2月12日(月)祝文化会館ホールにて板橋稲門会イベント音楽鑑賞会の二環として、早大応援部OB・OG稲吹会ララスバンド演奏(当該ホール3回目開催)を鑑賞しました。日頃吹奏楽ライブは中高生の街頭行進や諸隊員屋外演奏が多く、ホール内コンサート鑑賞は久方振りにて迫力満点のパフォーマンスを聴き、大いに元氣付けられました。同席会員20名弱の皆様方も多分そうお感じになったのでは?

当日プログラムで印象に残ったのは、第一部ではティスニーメドレーの合奏と各ソロ奏者とのバランス他パーカッションの演奏でした。第二部では組曲アルヒーバカッションの演奏でした。最初と民族音楽の数々、そして終楽章の盛り上がりへと、初めて聴きましたがとても感動しました!! プラボー!!

アンコール後の最後の曲の定番「校歌と早稲田の栄光」は合唱コンサート体験の多い小生、つい唱和した次第です。

来年の開催は、19年1月14日(祝)同会場とのこと。多数会員の参加を目指しましょう!!



潮統太郎(35年)

▼板橋稲門会ゴルフ

★第37回ゴルフコンペ

2017年4月6日(木)日高カントリー倶楽部

優勝・古谷和正氏(50年 理工)



古谷 和正 (50年 理工)

飯田顧問のご尽力により予約いただいた名門「日高カントリー倶楽部」にて第36回に引き続き優勝できました。

快晴の下、桜の咲く綺麗なコースで気分良く前半は43と自分としても良いスコアで回れ、つい連続優勝を意識し、そのため後半は54と叩いてしまいこれで優勝は逃してしまっと思いましたが、しかし、後半の東は南よりも距離があり、他の参加者の皆さんもスコアを崩し、その結果ハンディによって優勝できました。

二緒した高河原さんご夫妻と夫婦ペアで楽しく回れましたが、高河原さんご夫妻は名門相模原のメンバーで主人とは同ネットでしたが、ハンディの少ない私の優勝になりました。幹事の田嶋さん、高河原ご夫妻参加の皆様ありがとうございました。



★第38回ゴルフコンペ

2017年10月19日(木)埼玉ロイヤルゴルフ倶楽部

優勝・恩田通夫氏(46年 教)



恩田 通夫 (46年 教)

当日は自宅を出る時から雨予報では雨と知っていましたが、雨が上がるという一縷の望みを持って埼玉ロイヤルゴルフ倶楽部へと向かいました。

クラブハウスに着いてから、誰からもなく、中止の声が掛かるのではないかと(不謹慎ではありますが)思っていたのですがどなたからも声が掛かりませんでした。流石に早稲田の人は違うな〜と気合を入れ直し、雨の中をスタートして行きました。



参加者は当初の予定より少な〜い名に減少して少し寂しい会となりコンディションの悪い雨の中のプレーではありましたが、みなさん思っていたよりもスコアが良く、晴れたら他の競技者がどのくらいのスコアになったかと思うと私の優勝は運として倶楽部の中でも3本の指に入るキャディーと良き同伴者に恵まれた結果だと思つ〜くと思ひ知らされた次第です。雨の中誰一人として怪我なく無事にプレーを終了し、パーティールームでの会食と歓談の後、帰宅の途に就きました。今回の雨の中のゴルフ開催に労を取っていただいた田嶋氏、斎藤氏に感謝いたします。

▼国内旅行 乳頭温泉郷「黒湯温泉」

2017年6月9日(金)〜11日(日)



朝倉 久男 (47年 政経)

板橋稲門会の初の国内旅行は、6月9日(金)〜11日(日)、東北の秘湯 乳頭温泉郷の「黒湯温泉」を訪ねる旅である。乳頭温泉は昨今マスコミヤ観光会社の宣伝で鶴の湯が有名となっているが、黒湯は乳頭温泉郷の最奥に位置し、その発見は延宝2年(1674年)頃に遡ると言



われる由緒ある温泉である。そのオーナー、池田氏は稲門出身者で、私とは偶然にも同じ1972年卒。池田氏は商学部卒で、なんと東北3大地主の16代目当主でもある。今回の旅行幹事(吉田氏・48年政経)の采配で、池田氏が我々板橋稲門会一行を受け入れてくださるとのこと。12名(内夫婦2組)が参加した。2泊3日の行程で、八幡平・玉川温泉・黒湯温泉(泊)・旧池田氏庭園・角館・抱き返り溪谷・黒湯温泉(泊)・田沢湖を巡り、新緑の美味い空気を吸い、のんびりと温泉につかる素晴らしい旅行となった。



第1日目、上野駅パンダ前で集合。参加者の一人が来ない。割安のグループチケットが使えないかと気をなみなが何となく遅れた二人も到着無事。7時42分発の東北新幹線はやぶさ3号に乗り込む。9時51分盛岡駅に到着。3日間お世話になる中型バスが迎えに来て、車窓から岩手山を仰ぎ見ながら、一路雪の残る八幡平山頂へ。レストハウスで昼食後、玉川温泉に向かう。日本一の強酸性の泉質と湧出量を誇る玉川温泉で、まずは源泉100%の大浴場に入ってみる。聞いていた通り、数分もしないうちに体に刺激を感じる。まずは源泉50%から徐々に体を慣らすのがよいそうだ。自然放射線には地熱のある岩場でゴザを敷いて岩盤浴を楽しむ人もいる。微量の放射線と大量のマイナスイオン等も含まれ、新陳代謝の促進や鎮痛効果が認められているとのことだ。

玉川温泉を後にして車窓から宝仙湖、玉川ダムなどを見ながら、本日(の)宿泊先黒湯温泉に向かう。黒湯温泉は、駐車場から少しだけ谷あいになり下りた所に薬草屋根の湯治場も立ち並び、オーナーの池田ご夫妻が丁寧に迎えてくれる。まずは、風呂をゆ〜くゆ〜く味わい、豪勢な山の幸溢れる夕食とオーナーが自ら仕込んだ吟醸酒「黒湯」の差し入れに会話も弾み、楽しい一夜を過ごす。

第2日目、あいにくの雨となつたが、池田氏の案内で大曲にある、旧池田氏庭園を訪ねる。東北2大地主(入正時代には1200町歩、小作人1200人)を擁していた由の池田家の旧邸宅敷地で池田氏が生まれ育つたところと聞いて、世が世なら同窓などと親しげに話も出来ないのだろうかと思つた。分家庭園と合すると6万㎡という広大な敷地に屋敷林、洋館、雪見大灯笼などを配する素晴らしい邸宅庭園で、現在、国指定名勝となっている。

この後、角館に移動し、武家屋敷街を散策。大正ロマンあふれる蔵と母屋のある西宮家で昼食をとる。午後からは雨もあがり、抱き返り溪谷に立ち寄り、吊り橋までの散策だったが、一部の健脚者と言っても70歳代は新緑と溪流の青さに魅せられ、回顧の滝まで足を運び、出発時間が遅れる羽目になった。

2日目の黒湯の宿での夕食も美味溢れる山菜川魚、地元牛とオーナー手づくり大吟醸酒「13代文太郎を味わい、一日の旅をしめく〜つた。

第3日目、朝食をゆ〜くゆ〜く頂き、宿泊先を10時とする。出発までの間、宿のカフェで美人の女将が入れてくれたコーヒーを味わう。黒湯温泉は、観光バスなどのツアー団体客は受け入れておらず、予約は自前のHP等からだけであるが、最近ではベトナム人の外国人客も多くなっている。由来には現在湯治客用としての薬草屋根別館をヘッド付のインバウンド向けの部屋に改修するのを計画していると、藁葺の外観はそのまま残すと聞いて安心した。



美人の女将に見送られ、黒湯温泉を後にして田沢湖岸をドライブ。たつこ像を見学した後、近くの湖岸レストランで比内鶏の親子丼をランチで食する。レストラン脇には秋田犬、比内鶏などの血統種が飼育されているというので見学。



14時8分秋田新幹線「こまち22号」で上野に向かって帰宅の途に就く。充実した楽しい2泊3日の旅行であった。種々アレンジ頂いた吉田幹事に感謝する。

△参加者▽庭野恒夫(29商)・関精一(31商)・飯田金廣(33文)・金子(奥様)・潮鏡太郎(35商)・鷹野慎吾(37商)・慧子(奥様)・藤田治(44理工)・水野光春(45理工)・朝倉久男(47政経)・吉田重雄(48政経)・斎藤友二(50文)

△参加者▽鎌倉五山の建長寺・円覚寺・寿福寺・浄智寺・浄妙寺と、駆け込み寺であった東慶寺竹の寺として有名な報国寺を巡るウォーキングの会でした。鎌倉五山といつても、建長寺と円覚寺しか行かなかったのですが、この季節に臨済宗の禪寺を巡って落ち着いた気分になることもいいかなと思ひ参加させていただきました。

当日は快晴で暖かく、ウォーキングには最適な日和でした。ウォーキング会は初めての参加でしたが、池袋駅に集合したときから、以前食べ歩きのでこ二緒させていた方もいらして、初参加の私に気を遣っていただき、すぐに打ち解けることができました。北鎌倉には湘南新宿ラインの直通タリン車に乗車して1時間15分余り、歓談していたらあつという間に着きました。鎌倉つ〜こなに近いんだとびっくりです。

北鎌倉駅に着くとホームは古部鎌倉の紅葉見物に訪れた人たちがあふれ、駅からすぐに見える円覚寺の石段も人でいっぱい。石段の両脇は真っ赤に色づいた見事な紅葉、目にも心にも染み入り、本当に今回のウォーキングのタイトルに偽りなしと感じました。

2時間ほどお寺を巡って、昼食は建長寺門前のそば処五山別館で「げんちゃん汁」堪能しました。これは建長寺の開山、蘭溪道隆(らんけいどうりゅう)が発案した「建長汁」が由来だとのこと。素朴でありながら、なんとも言えない野菜の旨味が溢れ、おいしかったです。



朝倉 久男 (47年 政経)



朝倉 久男 (47年 政経)